Y613-08426-00 Rev.B

本商品には「かんたんスタート」CD-ROMが付いています

corega
CG-WLBARGS
らくらく導入ガイド

このたびは、「CG-WLBARGS」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は、本商品でインターネットに接続するまでの手順を紹介しています。本書と付属の「Q&A」をあわせてご覧になり、正しい設置・操作を行ってください。

このCD-ROMを使うと…

- インターネットをはじめるための設定がかんたんにできます。
- 「同梱品一覧」や「各部の名称と機能」がご覧になれます。

STEP 1 はじめに、以下のものが同梱されているか確認しましょう

本商品をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- □ CG-WLBARGS 本体
- □ かんたんスタート（CD-ROM）
- □ スタンド
- □ 壁掛け用ネジセット（アンカ×2、ネジ×2）
- □ らくらく導入ガイド（本書）
- □ コンテンツフィルタリングで安心インターネット
- □ 電波干渉注意ラベル
- □ AC アダプタ
- □ アンテナ
- □ スタンド固定用ネジ×2
- □ LAN ケーブル（1.8m）
- □ Q&A
- □ 安全にお使いいただくためにお読みください
- □ 製品保証書（1 年）

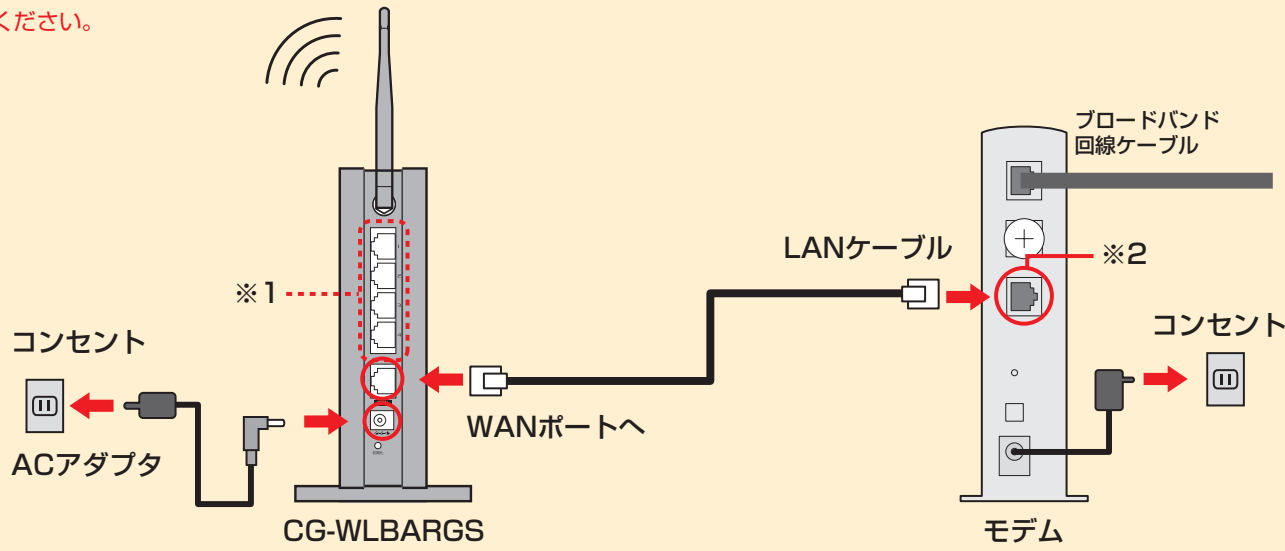
STEP 2 無線ルータ（親機）をパソコンとモデムにつなぎます

下図のように、無線ルータ（親機）をパソコンとモデムにつなぎます。

本商品が起動するまでにおよそ1分程度かかります。その間STATUS LEDが点灯しますので、消灯するまでしばらくお待ちください。

1 LAN ケーブルを CG-WLBARGS の WAN ポートと、モデムの LAN ポートに接続します。

ブリッジ接続でお使いになる場合は、本商品のルータ機能をオフにして（STEP 5の手順 6）お使いください。

2 本体に AC アダプタを接続します。

※1　有線でお使いになるパソコンがある場合は、パソコンと CG-WLBARGS の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。
※2　モデムのポート名は「LAN」「PC」「パソコン」「ENET」「Ethernet」など、機種によって異なります。

注意 本商品をお使いになる前に、モデムにパソコンを接続して使用されていた場合は、モデムの電源を切り、30 分ほどたってから接続してください。

STEP 3 お使いの環境にあわせて親機と子機を接続します

下図のように、無線ルータ（親機）をパソコンとモデムにつなぎます。

無線接続

- **●コレガの無線LANアダプタを使用している場合** → お使いの無線LANアダプタの取扱説明書をご覧になり、「コレガ無線LANユーティリティ」でESSID「Jumpstart-P1-xxxxxx」に接続します
- **●無線LAN内蔵のパソコンを使用している場合** → 付属の「Q&A」（P.5～）をご覧になり、Windows XPの「ワイヤレス ネットワーク」でESSID「Jumpstart-P1-xxxxxx」に接続します
- **●他メーカの無線LANアダプタを使用している場合** → お使いの無線LANアダプタの取扱説明書をご覧になり、付属のソフトウェアでESSID「Jumpstart-P1-xxxxxx」暗号化なしで接続します

有線接続

パソコンと本商品をLANケーブルで接続します

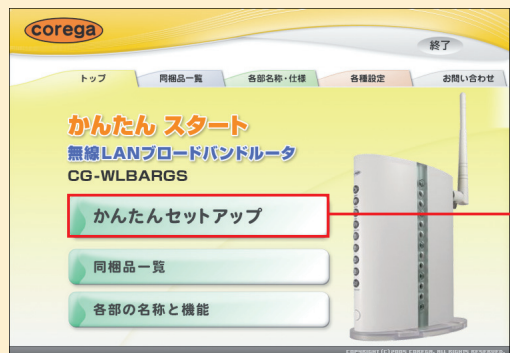
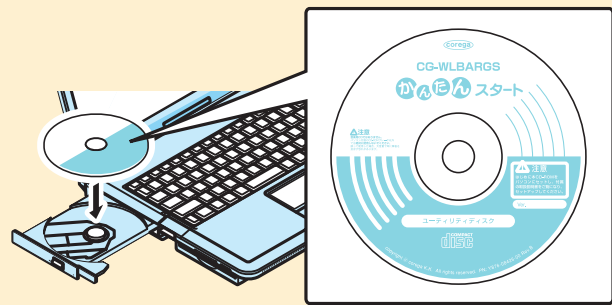
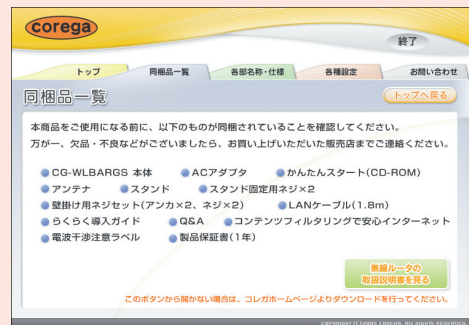
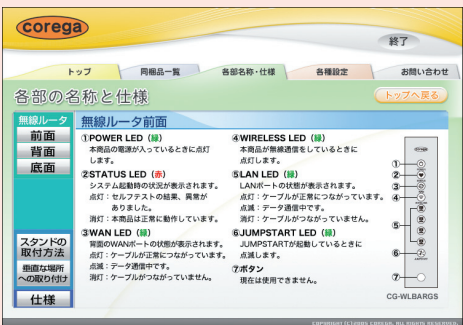
接続できたら、STEP 4「かんたんスタート」CD-ROMをパソコンに入れますへすすみます

注意 無線LANアダプタまたは無線LAN内蔵のパソコンを複数お持ちの場合は、はじめの1台のみ「かんたんルータセットアップ」を行ってください。

STEP 4 「かんたんスタート」CD-ROMをパソコンに入れます

「かんたんスタート」CD-ROMをパソコンに入れると、自動的に次の画面が表示されます（しばらく待っても表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください）。

1 パソコンのCD-ROMドライブに「かんたんスタート」を入れます。

2 「かんたんセットアップ」ボタンを押します。

同梱品一覧
同梱品一覧をご覧になれます。

各部の名称と機能
各部の名称と機能や、製品仕様などをご覧になれます。

注意 ウィルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンに入っている場合は、CD-ROMが起動しない場合があります。一時的に上記ソフトを停止後、CD-ROMを起動してください。なお、ソフトウェアの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。

裏面に続きます

STEP 5 無線ルータに自分の環境を登録します

「かんたんルータセットアップ」ボタンを押すと次のような手順となります。本書を参考に表示された画面にしたがってください。

1 「かんたんルータセットアップ」ボタンを押します。

2 無線通信が確立されていることをご確認のうえ、「はい」を押します。

3 「基本設定」ボタンを押します。

4 「次へ」ボタンを押します。

5 「検出しました」と表示されたら、「次へ」ボタンを押します。

6 ルータ機能の「ON/OFF」を選択したら「次へ」ボタンを押します。

接続事業者やサービス内容によって、使用するモデムにルータ機能が搭載されているもの、搭載されていないものがあり、モデムの種類に合わせて本商品のルータ機能のON／OFFを切り替えていただく必要がありますので、次の表をご覧になり、本商品への設定方法をご確認ください。
※一部サービスで、モデムまたはIP電話機にルータ機能が搭載されている場合があります。その場合は、この画面で「ルータ機能」をOFFにしてください。

該当接続サービス名（一例）	本商品の設定
NTT東日本／西日本（Bフレッツ／フレッツ・ADSL）	ON（※一部サービスにより「OFF」）
東京電力（TEPCOひかり）	ON（※一部サービスにより「OFF」）
ケイ・オプティコム（eoホームファイバー）	ON
九州通信ネットワーク（BBIQ）	ON（※一部サービスにより「OFF」）
USEN（GyaO 光）	ON（※一部サービスにより「OFF」）
Yahoo! BB	ON（※一部サービスにより「OFF」）
CATV各社サービス	ON（※一部サービスにより「OFF」）
NTT西日本（フレッツ・光プレミアム）／イー・アクセス／アッカ・ネットワークス	OFF
その他ADSL・FTTH接続サービス	ON（※一部サービスにより「OFF」）

次のような場合はご契約いただいたプロバイダまたは回線業者にご確認ください。
- ●モデムにルータ機能が搭載されているかわからない場合
- ●ご契約中の接続サービス名が上の表に記載されていない場合

7 検出された回線種別ごとに、それぞれ次のように手順をすすめます。

「PPPoE 接続」の場合

「接続ユーザーID」と「接続パスワード」を入力します。NTTのフレッツ・スクウェアを利用する場合は「フレッツ・スクウェアの設定」ボタンを押し、それ以外の場合は「次へ」ボタンを押します。

①「接続ユーザーID」を入力します
②接続パスワードを入力します
NTTのフレッツ・スクウェアを利用する場合
NTTのフレッツ・スクウェアを利用しない場合

フレッツ・スクウェアの設定をしたら、「次へ」ボタンを押します。

次の画面が表示されたら、「次へ」ボタンを押します。

「次へ」ボタンを押します

「DHCP 接続」の場合

次の画面が表示されたら、「次へ」ボタンを押します。

「次へ」ボタンを押します

「回線種別が検出できません」と表示された場合

5分ほど時間をおいてから再度同じ手順を行ってください。再び「回線種別が検出できません」と表示された場合は、付属の冊子「Q&A」の「『かんたんルータセットアップ』で設定できない」をご覧ください。

8 ユーザIDの欄に「root」と入力し、「次へ」ボタンを押します。

9 青いボタンを押してインターネットが正しく接続されているか確認します。

※1 セキュリティ強化のため、設定完了後に、手順 8 で設定した「ユーザID」と「パスワード」を変更することをおすすめします。変更方法については、下記手順をご覧ください。
※2 必要に応じて、付属の「Q&A」をご覧ください。

●他にも無線LAN内蔵パソコンなどをお使いの場合 → P.24
●無線セキュリティ（暗号化）の手順 → P.17
●無線対応ゲーム機、他社の無線アダプタについては → P.23、28

その他の設定方法

■「かんたんスタート」CD-ROM を使わない場合

1 本商品に接続したパソコンで、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。

2 Web ブラウザのアドレス入力欄に「192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

アドレス(D) 192.168.1.1

3 ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザ名の欄に「root」と入力し、パスワードは何も入力せずに「ログイン」ボタンを押します。

3 設定画面が表示されたら、左のメニューの「簡単設定」を選択します。

■「ユーザ ID」と「パスワード」の変更方法

「ユーザ ID」と「パスワード」を変更する場合は、左記の「■「かんたんスタート」CD-ROM を使わない場合」の手順 1 ～ 3 を行った後、画面左側のメニューから「管理」を選択し、「管理者ログイン名」、「管理者ログイン・パスワード」、「パスワードの確認」をそれぞれ入力し、「設定」ボタンを押します。

■さらにルータの機能を使いたい場合

ダイナミックDNSやバーチャルサーバなどのルータの機能を使いたい場合は、「取扱説明書」ボタンを押して「詳細設定ガイド」をダウンロードし、画面左側のメニューから設定したい項目を選択します。

■製品仕様

■CG-WLBARGS

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11／（国内規格）ARIB STD-T66
	WAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）
	LAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）/IEEE802.3x（Flow Control）
取得承認		VCCI クラスB、PSE、技術基準適合証明
推奨ブラウザ		Internet Explorer 5.5以上
無線LAN仕様	周波数帯域	［IEEE802.11g/b］2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	［IEEE802.11g/b］13ch（1～13ch）
	伝送速度	［IEEE802.11g］54/48/36/24/18/12/9/6Mbps ［IEEE802.11b］11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure（アクセスポイントモード）
	アンテナ形式（タイプ）	着脱式ダイポールアンテナとPCBアンテナ（ダイバシティ方式）
	セキュリティ	ESSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、WEP（64/128/152bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 WPA-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1x認証）、WPA2-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1x認証）、 ステルスAP（ESSID名隠蔽、ANY拒否）、MACアドレスフィルタリング、 無線端末⇔有線端末、無線端末⇔無線端末間通信の有効/無効
WAN仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×1ポート（MDI/MDI-X自動認識、手動設定）
LAN仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×4ポート（全ポートMDI/MDI-X自動認識）
電源部	本体	最大消費電力：5.5W
	ACアダプタ	定格入力電圧：AC100V（50/60Hz）／定格入力電流：500mA
環境条件	動作時	温度：0～40℃／湿度：90%以下（結露なきこと）
	保管時	温度：－20～60℃／湿度：95%以下（結露なきこと）
外形寸法		41（W）×113（D）×152（H）mm 本体のみ（突起部を含まず）
質量		260g 本体のみ

■工場出荷時の設定

■CG-WLBARGS

管理者設定	ユーザ名	root
	パスワード	（設定なし）
	システム名	CG-WLBARGS
ネットワーク設定	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
ワイヤレス基本設定	通信モード	Infrastructure
	ESSID	Jumpstart-P1-xxxxxx（「xxxxxx」はランダム）
	チャンネル	自動設定
	暗号化	無効
	802.11モード	802.11g/b
	Super G	有効
	eXtended Range	有効

■おことわり

・予告なく本書の一部または全体を修正・変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は、GNU General Public License Version 2 に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2 の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行ないません。詳細については添付CD-ROM内 GNU_LICENCE.PDF をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

2005 年 10 月　初版
2006 年　5 月　第二版